学校番号	104

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「最新日本史図表」（第一学習社） 「日本史用語集」（山川出版社） 「ウィニングコンパス日本史の整理と演習　2026（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史への興味、関心を持つ。
・歴史的なものの見方、考え方を身につけようとする姿勢で学ぶ。
・世界史的視野で近世日本の歴史を捉え、近現代史の理解に繋げる。
・授業では教科書の他、副教材として図説や史料集も使用しますので、忘れずに持ってくること。

2　学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を習得するとともに、日本史に関する通史的な知識を身に付ける。
・身に付けた知識を活用して、世界史的視野をもって多角的に歴史事項を考察できる歴史的思考力を養う。
・歴史に学ぶ姿勢を培い、今日の国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
・世界における日本の歴史に対する意識・関心と問題意識を高め、主体的に学ぶ姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本史の展開に関わる諸事象についての学習を通して、よりよい社会の実現を視野に入れ、自ら発見した課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される社会の構成員としての自覚や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本文化のあけぼの	・文化の始まり ・農耕社会の成立	a:水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c:黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	歴史資料と原始・古代の展望	・古代社会と海外との交流 ・木簡から古代国家を探る	a:中国の歴史書の記事をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:中国の歴史書の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 c:木簡を資料として活用し、律令国家における文字文化の広がりについて主体的に考察しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	古墳とヤマト政権	・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	a:国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 b:仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 c:中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

1	律令国家の形成	・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容	a:隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 b:文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 c:隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	貴族政治の展開	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	a:藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b:文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 c:平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	院政と武士の躍進	・院政の始まり ・院政と平氏政権 ・歴史資料と中世の展望 絵画から中世社会を探る	a:貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b:武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:中世の京都を描いた絵画資料から得られる情報をもとに、中世社会の特色について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

1	武家社会の成立	・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	a:承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b:幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 c:鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	a:守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 b:自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
2	近世の幕開け	・織豊政権 ・桃山文化	a:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b:織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

2	幕藩体制の成立と展開	・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 ・歴史資料と近世の展望	a:諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 b:陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c:戦国時代までの社会の在りかたと比較し、近世がどのような社会に変わったのかについて課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	幕藩体制の土曜	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	a:幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 b:国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c:近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	近世から近代へ	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・歴史資料と近代・現代の展望	a:政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 b:日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:時代を通観する問いを踏まえ、五箇条の誓文のあつかわれ方を通してみえる日本の近代・現代の歴史の展開について、展望しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

2	近代国家の成立	・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	a:諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b:諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	近代国家の展開	・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	a:ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 b:大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	近代の産業と生活	・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	a:国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b:都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

3	恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a:国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 b:当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	a:第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 b:地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 c:現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	高度成長の時代	・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	a:冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 b:日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 c:55 年体制の歴史的意義や、1960 年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

3	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容 ・現代日本の課題の研究	a:冷戦終結後の国際関係、55 年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b:日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:自ら主題を的確に設定し、資料を適切に解釈したうえで複数の解釈を比較・検討・選択し、充分な論理展開で叙述・表現している。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度